

akta



COMMUNITY CENTER AKTA
MONTHLY PAPER
OCTOBER 2016
NO.34



10

特集：

ALL JAPAN
キャンペーン
はじまります

Interview

今月の表紙とインタビューは、韓国人のNAHWAN(ナファン)さんです。

NAHWANさんは日本の美術大学で絵画を専攻し、現在は韓国でアーティストとして活動しています。アーティスト活動のことや、ソウルのゲイションについて話していただきました。

NAHWAN 32才 アーティスト



BIGGER THAN THE MOUNTAINS! ©NAHWAN JEON

— 好きな食べ物

ラーメン+ハンバーグ, フォリン
(ハカタ テンジン)

— 休日の過ごし方

おひまひま.

— 韓国で好きな場所

イテウオン

— 好きなアーティスト

Hernan bas. (painter).
NARA YOSHITOMO. (Painter)..
MIYAZAKI HAYAO (GHIBLI)..

— 自分の体で好きな部分

カカ

— これから行ってみたい国

ドイツ(ベルリン)

Interview

—ナファンさんの作品について教えてください。

作品には複数の想いが入っているんですけど、最近の作品『BIGGER THAN THE MOUNTAINS!』は“カミングアウト”がテーマになっています。ギリシャ神話のサイクロプス(Cyclops)をモチーフにしていて、目が一つであることを理由に地下に埋められたサイクロプスと、ゲイのことを重ね合わせています。簡単に言えば、「出てこい!」って言うことですね。タイトルの意味は、物理的な大きさではなくて、心の中で山を越えよう、みたいなニュアンスです。

—ナファンさんは日本の大学で学んでいたんですね。

はい、東京造形大学の絵画科に通っていました。元々アニメをやるために東京に留学したくて、高校生の時から日本語の勉強をしていました。日本人の家に1年半くらいホームステイをしていて、そこのお兄さんに「アートをすれば?」って言われて、それまでアニメのことばかりだったんだけど、奈良美智や村上隆の作品を見て、「これだったら僕でもいけるんじゃない?」って思って、じゃあ美大行こうって(笑)。作品のスタイルにも出ていると思うんだけど、アニメがベースになっているんですね。今後はアートの領域でいいから、アニメを作りたいと思っています。韓国に帰った後、一度アートから離れて劇団に入ったりしていたんだけど、2013年くらいからまた制作活動をしています。

—今は絵を描いて生計を立てているんですか?

7月にソウルのギャラリーで個展をやったんだけど、今回初めて作品が売れて、「あ、売れるんだ!」って思いました。ずっと作品を買いたいと言ってきていた人がいて、オープニングの時に買ってくれました。普段はアトリエで絵を描いたり、本の表紙やポスターの仕事なんかもしています。メジャーな仕事ばかりではないのでお金も少な

くて、大変ですが。

—日本に来てびっくりしたことはありますか。

日本に来たのが19歳で、そこから5年くらい住んでいましたが、日本人は親切だし、ぶつかってもしっかりと謝ってきますね(笑)。韓国に帰ったら、人々が荒々しいことに逆にびっくりしたね。しばらくするとだんだん自分もそれに慣れてくるころもあるんですけど。韓国人は人との距離感が近いんですね。フラッと入った食べ物屋のおばさんに、座った瞬間から親しく話しかけられたりとか(笑)。そういう、日本とはまた別の種類の親しみやすさがあると思います。東京に住んでいた時は、2丁目には毎週行ってましたよ。飲み屋さんでバイトしていました。仕事が終わるのが11時半で、そのまま帰らないで『ARTY FARTY』で踊り狂ったり(笑)。

—ソウルのゲイシーンはどんな感じですか?

韓国と東京のライフスタイルは似ていますね。新宿2丁目みたいなチョンノサンガっていう街があって、そこに2~300くらいの店舗がありますね。チョンノでは外でみんな賑やかに飲んでいて、2丁目よりも賑やかな感じがしますね。ていうかうるさい感じですよ(笑)。あとイテウォンにはゲイクラブが4つくらいあります。チョンノで飲んでイテウォンのクラブに行く、みたいな感じかな。基本的に焼酎やビールを飲みます。値段は、焼酎が一本500円くらいで、それをみんなで分けます。屋台が並んでいる通りがあって、そこにみんな座って、通りがかる人を見たりしています。

—ゲイタウンでの楽しみ方を教えてください。

屋台に行って焼酎を頼んだら、そこのおつまみを試してみたい。毎週金土はクラブイベントをやっているんで、自分に合うイベントを見つけて行って。イテウォンには、“HOMO HILL”というゲイバーが並んでいる場所があるんですけ

ど、そのこの入り口に最近『LOOKING』っていうクラブが出来たんです。チョンノには、『COFFEE BEAN』というカフェがあるんですけど、いつもゲイがいっぱいいるので、『GAY BEAN』て呼ばれています(笑)。そこで人間観察をするのも楽しいですよ。

—韓国ではどんなタイプの人がモテますか？

クマ系もいればスラッとしている人もいれば、キレイなグループもいるけど、カッコよくて体がいい人はやっぱりモテますね。みんなすごい鍛えてるんですよ。軍隊があるからっていうのもあるけど、それよりも単純にモテたいから！っていうのがありますね。日本のAVの影響もあります。

—カミングアウトはしていますか？

僕の周りでは結構している人はいるけど、絶対しないっていう人もいます。この10年くらいでだいぶ変わってきました。チョンノサンガで飲んでいたら絶対バレるってわかってるけど、別にいいやって人も多いし。自分の周りはフリーランサーが多いので、カミングアウトしている人が比較的多いかもしれないです。僕はストレートの女友達にしました。僕の作品も、カミングアウトをしないと伝わらないメッセージだったりするので、ギャラリーの人にも。誰も特に聞いてはこないけど、わかってるんじゃないですかね。あとはお姉ちゃん。この間アメリカの『Loverboy』というゲイ雑誌に出たんですけど、僕は英語があまり得意ではないので、姉に翻訳してもらったり。親にも10年前に言ったんだけど、ちゃんと飲み込んではいないと思うな(笑)。

— HIV検査を受けたことはありますか？

韓国にはiSHAP (IVAN STOP HIV/AIDS PRO-

JECT) っていうところがあって、そこでコンドームやローションを配っています。チョンノに行くといつでもHIV検査ができる場所もあるし、啓蒙ポスターなんかも貼られています。僕はオーラルの時以外はゴムを付けるように心がけています。昔付き合っていた人が、オーラルの時もゴムを付けるって言っていて、「そこまではいいじゃん！」って思いましたね。検査は定期的に受けているわけじゃないですけど、今年は受けましたね。今回は、肺が悪くて病院に行った時に血液検査のついでにしました。これ、大丈夫かな？ っていうことがあったりすると受けるんですけど、やっぱり毎回緊張しますね。

—これからしたいことはありますか？

日本でも展示がしたいですね！



このコーナーでは、セクシュアリティにまつわる話や、リアルなセックス観についてモデルに自由に語っていただいております。インタビューの内容については、これまで障人の意見もあり、aktが推奨し、励みしているものではありません。読者の皆様が自身のセックスについて振り返ったり、セーフターセックス(コンドームを正しく使うなどのより安全なセックス)について考えるきっかけになれば幸いです。

韓国のLGBT事情



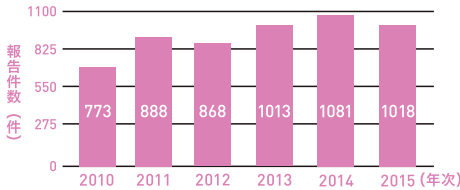
東京から飛行機で2時間ほど。おとなり韓国のLGBTや、HIV/エイズをめぐる状況、街の様子や、面白い取り組みを紹介します。

韓国のHIV/エイズ動向

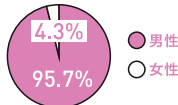
2015年、韓国で新たにHIV感染がわかった人数は、1,018人(韓国の人口は49,512,000人)。ここ3年、年間に1,000人を超える報告があり、注目されています。また、年代別で見ると、20代が34.5%、30代が22.5%と、若い年齢での感染が多く報告されています。加えて、性別でみると、男性が95.7%を占めています。

引用 Korea Centers for Disease Control & Prevention (2016) "Infectious Diseases Surveillance Yearbook 2015"

韓国の新規HIV/エイズ報告件数



2015年韓国の新規HIV/エイズ性別報告



LGBTに関する様々な制作物

Peanut Butter Project

「ピーナッツバター・プロジェクト」は、普段、商業的な仕事をしているデザイナーやアーティスト達が、その創作意欲を自らが属するLGBTコミュニティに向け発揮するプロジェクトです。vol.1はセクシュアル・ヘルスをテーマに、vol.2は10代のLGBTをテーマに、食パンサイズのポストカードが制作されました。vol.2の売上は、DDingDongに寄付されます。

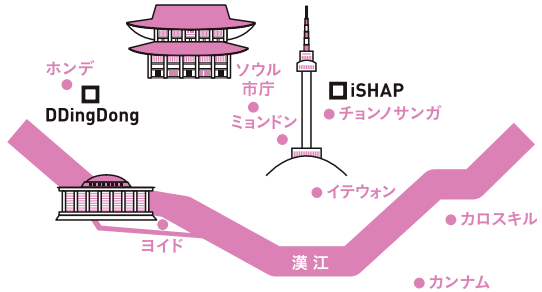
pbp.kr



DUIRO Magazine

LGBTとストレートコミュニティの間の壁を壊し、対話を誘うために作られた雑誌「DUIRO」。第1号のテーマは“軍隊”。兵役がもたらす深刻な問題から、兵役中のロマンスまで、ビジュアルとテキストで読ませる、韓国で話題の面白い雑誌です。

duiromagazine.com



ソウルのゲイタウン

ソウルのゲイタウンは、チョノサンガとイテウォンが有名です。チョノは300軒近いゲイバーなどの店舗に加え、路上にたくさんの屋台が立ち並び、夜更まで、屋台でみんなが飲んでいる風景は東京にはない楽しさです。イテウォンは多国籍な雰囲気。クラブ、ゲイバー、トランスジェンダーバーなどが数多く集まり、最近ではイテウォンのイスラム人街に若いアーティストのアトリエやショップもたくさんできていて、刺激的な街です。

コミュニティセンター

iSHAP Ivan Stop HIV/AIDS Project

チョノサンガにある、LGBTに向けたセクシュアル・ヘルスに関する情報センター&フリースペース。誰でも利用できるラウンジには無料のPC、ボードゲームなどがあり、ホームシアターを装備した広いセミナールームやHIV検査室、相談室もあるスペースです。また韓国第2の都市プサンのポミルにも同様のスペースがあります。

ishap.org

DDingDong

2014年12月、若者の街ホンデにできた10代のLGBTを支援するセンターです。オープンルーム、キッチン、シャワールーム、仮眠室、相談室があり、家族や学校から孤立して困難な状況にある10代の若者を様々な面でサポートしています。月2回土曜日にはシェフが食事を振る舞うDDingDongレストランを開催したり、週末にはチョノノに移動相談屋台を出す活動などもしています。

ddingdong.kr

HIV Issue

ALL JAPAN キャンペーンがスタート!

2012年からおこなってきた「Safer Sex Campaign」が、『やる!プロジェクト』とコラボレーションして、全国で同時展開。10月14日から『ALL JAPAN キャンペーン』としてスタートします。



ウェブサイトと全国のコミュニティセンターで展開!

YES! Safer Sex × **やる!**  akta.jp/AJ16



誰でも、セックスを楽しむ方法がある

HIVを持っていても、そうじゃなくても、どちらかわからなくても、セックスを楽しむ方法があります。少しの工夫や少しの勇気で、セックスを心から楽しむことができたなら、いいよね。そのアイデアが、ウェブサイトにも満載です!



コンドームとローションで、もっと楽しめる

セーフセックスには、色々な方法があります。コンドームは、セーフセックスの最も便利なアイテム。「ALL JAPAN キャンペーン」ではコンドームとローションを配布します。

コンドームをもらおう

右の地図に掲載している、全国のコミュニティセンターやゲイタウンで配布しています。



HaaT えひめ



dista



rise community center



SHIP



community center ZEL

akta

あなたがどこにいても、参加できる

あなたの街にあるコミュニティセンターやハッテン場、ゲイバー、ショップなどに行ってみよう。また近くになくても、ウェブサイト (akta.jp/AJ16) でポスターをダウンロードすることができます。あなたのお店や部屋に貼ってみませんか?

akta October 2016 Schedule

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
10/1 SAT 2 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING 16:00-18:00 中国語教室	3 18:30-21:00 AA セクシュアル・マイノリティ・ ミーティング	4 CLOSED	5 CLOSED	6 19:00-22:00 HIVcheck.jp	7 Pride DELIVERY 2016	8
9 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	10 体育の日 20:00-22:00 竹輪会	11 CLOSED	12 CLOSED	13 19:00-22:00 HIVcheck.jp	14 18:30-21:30 手コキ研究会 DELIVERY 2016	15
16 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	17 18:30-21:00 AA セクシュアル・マイノリティ・ ミーティング	18 CLOSED	19 CLOSED	20 19:00-22:00 HIVcheck.jp	21 18:30-21:30 akta Talk Show vol.17 HIV/エイズの今を知る! 「TasP・PEP・PrEPってなんだろう？」 新しいHIV予防の技術と海外での 展開について」	22
23 16:00-18:00 中国語教室 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	24	25 CLOSED	26 CLOSED	27 19:00-22:00 HIVcheck.jp	28 DELIVERY 2016	29
30 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	31	11/1 CLOSED	2 CLOSED	3 文化の日 19:00-22:00 HIVcheck.jp	4 Pride DELIVERY 2016	5

Support

HIV関連	ゲイによるゲイのためのHIV/エイズ電話相談 【ぶれいず東京】	03-5386-1575 土 19-21時
	HIV感染不安の電話相談 【ぶれいず東京】	03-3361-8909 日 13-19時
	HIV陽性者とその周囲の人のための電話相談 【ぶれいず東京/厚生労働省委託事業】	0120-02-8341 月-土 13-19時
	HIVマップ<すぐに役立つHIVの情報サイト>	hiv-map.net
	HIV陽性者のための総合情報サイト	futures-japan.jp
隣接分野	統合ヘルプ・ライン・サービス 【アカー】	03-3380-2269 祝日除く火-木 20-22時
	法律相談 【アカー】	03-3383-5556 祝日除く月-金 12-20時
	こころの相談 【AGP】	050-5539-0246 火 20-22時
	からだの相談 【AGP】	050-5539-0246 第1・3水 21-23時
	ドラッグの話、なんでもOKなホットライン「ドラッグOKトーク」	090-4599-6444 休日除く水・金 12-18時
	法テラス 日本司法支援センター 法的トラブル解決のための総合案内所。電話・メール・面談で無料の案内をしています。	0570-07-8374 平日 13-19時
	セクシャル・マイノリティ電話法律相談	03-3581-5515 毎月第2・4木 17-19時
	よりそいホットライン 社会的包摂サポートセンター 自殺予防、DV・性暴力、セクシャルマイノリティの専用回線もあります。	0120-279-338 24時間/通話無料
RC-NET/レイプクライシス・ネットワーク	rc-net.info	

精神保健や薬物依存について全国の精神保健福祉センターや保健所でも匿名相談ができます。

community center akta

TEL 03-3226-8998

FAX 03-6380-0575

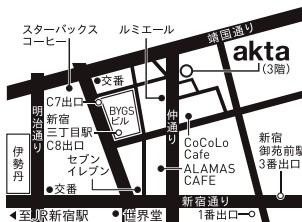
MAIL info@akta.jp

URL www.akta.jp

【開館時間】16:00-22:00

【定休日】火曜・水曜、年末年始

新宿区新宿2-15-13 第二中江ビル301



ALL JAPAN キャンペーン

クリエイティブ: akta 写真: 石川 大輔 2016年10月号 Photo & Interview: Hiroyuki Takemuchi Design: Yo Kasumi 企画制作: akta 2016年度厚生労働省委託事業「同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業」

つけて

いこう。



← ALL JAPAN
akta.jp/AJ16/
キャンペーンサイト

あなたのステキなSEXライフを応援します！

YES! Safer-Sex



2016年度 厚生労働省委託事業「同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業」 model: ALEX & IKARI photo: EISUKE design: HIROSHI MURAKAMI 協力: Badi